

亀 掌を左側に向け指頭を前方にさした五指のうち親指を残して他の四指を折り曲げた右手の上に、五指の指頭を右にさし掌を下に向けた左手を被ぶせ右手の親指を外にのぞかせる。親指は亀の頭、その指頭をびくびく動かせる。被ぶせた左手は亀の甲。

がめつい 人差指と親指で輪にしたのを、口にくわえるようにして（斉ちんぼの手まね）掌を下に向けて五指を屈めた両手で物を掻き寄せる身振り。

カメラ 掌を下に向け五指の指頭を右にさした左手。その五指の指頭をまるく集め合せて輪（空洞）をつくる。それをカメラのレンズとして胸の前にして、掌を内側に向けた右手をシャッターとして、左手の輪の穴（レンズ）を塞さぎシャッターを切るように下へ落とす。

蚊帳 蚊帳の吊り手を結ぶ真似を左右に二

度ばかりくり返して、蚊の裾をさばいて頭をくぐらせ入る身振り。

火曜日（火） 焰が燃え上るのを表現する心持で、掌を上に向けた両手の五指を集めては伸ばし集めては伸ばししながら、両手を交互に上昇下降させる。

空（空っぽ） 五指の指頭を右にさし下に向けた左手の掌の下に、右手の親指（他の四指は指頭を前方にさしている）の指頭を軽くつけたまま、他の四指を左右に振る。左手の下（物の内部）に何にもないと四指を振ったこと。

辛い 掌を内側に向けた五指の指頭を上にしてやや曲げたので、開いた口の舌の上を掻き廻わす真似。

鳥 黒い——鳥

ガラス 「鏡」と同じ手まね。

仮りに 口の中で舌をねじらせて片頬をふ

くらませて、そのところを親指と人差指で二度ばかりつまんで見せる。

借りる 「少し」の手まねをしたその手をそのまま胸もとへ引きよせる。

カルタ 左手の掌の上で、右手で札を繰る真似。

軽い 下腹部の前で物を両手で軽々と持ち上げる身振りと表情。

枯れる 木（或は草、花）——死ぬ。

川（河） 掌を上に向け五指の指頭を左にさした右手。五指をこまかく波打たせながら右へ移動させて行く。川の流れを横写したものは可愛い 「愛する」と同じ手まね。

変りなし 「相変らず」と同じ手まね。

考える 「思う」と同じ手まね。この場合人差指に力を入れ考える表情があつてよい。

関係 「間柄」と同じ要領の手まね。しかし、親指と人差指で輪にしてつなぎ合わせた



両手を少しばかり左へ移行するがよい。

看護婦 医

（右手で左の脈をとる）——女性

頑固 人差指

で腹部をさして「心」を表わし、その位置で五指の指頭 集め合せた両手を左右に互の指頭を強く着け合わせて僅かに下に下げる。固く結びついている様。

勘定 「会計」と同じ手まね。

感謝 「有難う」と同じ手まね。

感心 右手の親指と人差指の指頭を合わせ、その指頭を右頬につけ、上へこめかみのところまでもみ上げるように手を僅かにくるくる動かしながら伝い上げる。「快感」とよく似た要領であるが、頬からこめかみへする